

【議題 2】新型コロナウイルス感染症を契機とした、ひと・しごとの流れの創出～魅力的なライフスタイルの構築と実践～に係る事前意見

沼津信用金庫	<p>・仕事と収入の確保が移住の大きな要因となっていることから本地域に立地する企業情報の発信は不可欠であると考えられる。その中において、当金庫は、旧店舗の利活用として、まちづくりプラットフォーム「ぬましん COMPASS」を開設し、起業・創業の伴走支援を行うシェアオフィス・コワーキングオフィスの機能や定期的なオンライントークイベントのなかで地域情報を発信している。</p> <p>また、本年度は、東京・横浜のシェアオフィス施設との交流による関係人口創生に向けた取り組みを行っている。(令和3年度ふじのくに関係人口創出・拡大事業モデル創出業務)</p>
静岡県東部地域コンベンションビューロー	<p>・働き方改革が暮らし方改革へと発展し、副業・多拠点生活が一般化していくと、若い世代や子育て世代だけでなく、都市部の幅広い世代と地域との関係・接点が増えて、従来型の移住・定住とは異なる形となるかもしれない。</p> <p>・当地を訪れて関係を持ってくれる理由や切欠は多種多様で一様ではないため、地域の魅力を伝えていく手段は幾つかあり細分化されているが、各部門間のシームレスな連携が不可欠であると痛感している。</p>
富士宮市	<p>・移住先の小学校の規模が小さいため放課後児童クラブが設置できない場合、当該移住者の子育てと仕事の両立に支障がでることがある。</p> <p>富士宮市では、放課後児童クラブの無い小学校（小規模校）の児童を、近隣の小学校区の放課後児童クラブまで、タクシーを使い無償で送る事業を実施している。</p> <p>県の「まち・ひと・しごと」の市町に対する財政支援メニューとしての検討をしていただけないか。</p>

<p>沼津市</p>	<p>・新型コロナウイルス感染症の影響によるテレワークを活用した「転職なき移住」について重要と認識しており、本市では、全国的にもトップクラスと評価されたテレワーク環境や、首都圏への良好な交通アクセス、恵まれた自然・生活環境を活かし、テレワーク移住の推進などに取り組んでいる。今後の課題として、全国の傾向と同様に若い女性の転出超過が見られることから、雇用創出や都市整備など、魅力あるまちづくりの更なる推進が求められている。</p>
<p>沼津工業高等専門学校</p>	<p>・東部地域には、富士山、沼津港、温泉など自然を活かした観光が多いので、それらを巡るバスツアーを定期的に行なうことで、その地域が活発になると思う。また、上記の場所は離れているため、途中、途中でその土地の物産を味わえることで、東部全体が活性化するのではないかと。</p>